

# KDraster **コンバート** TX \* RS

テキストファイルまたはテキストデータをラスターデータに変換するプログラム



Kernel Computer System  
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部  
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル  
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501  
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

## 製品概要

- ・テキスト文書をラスターデータに変換します。
- ・座標位置付テキストデータをラスターデータに変換します。
- ・Windows フォントを指定し、テキストは指定されたフォントでラスターデータに変換が可能です。  
(Windows 版のみ)

### KDrasterコンバート(テキスト/ラスター変換)



## 出力フォーマット一覧

モノクロ	カラー (TX2RSC, TX3RSC のみ)
BMP (非圧縮) CALSG4 (type1, untiled) EDMICS (RLC, MMR) FX-MMR (富士ゼロックスラスタ)ー) HP-RTL (非圧縮, Packbits, MMR, MR, MH) IOCA (非圧縮, MMR, IBM-MMR) JPEG MH (G3 FAX) MIEL MMR (G4 FAX) MR (G3 FAX) PNG Sun Raster (非圧縮, MMR, RLE) TIFF (非圧縮, Packbits, G3, G4, CCITT-1D) XWD	BMP (非圧縮) HP-RTL (非圧縮, Packbits) JPEG PNG Sun Raster (非圧縮, RLE) TIFF (非圧縮, Packbits) XWD

## 動作環境

- ・ Windows XP / Server 2003 / Vista / Server 2008 / 7 / Server 2008 R2 / 8 / Server 2012 / 8.1 / Server 2012 R2 / 10
- ・ LINUX (RedHat 8.0 以降, RedHat Enterprise Linux ES3 (x86 系))
- ・ Solaris 9 以降 (SPARC)
- ・ HP-UX11i V2 以降
- ・ AIX 6.1 以降

## 価格

製品名	出力形式	価格 (税抜き)
TX2RS	モノクロ	35 万円
TX2RSC	モノクロ・カラー	50 万円
TX3RS	モノクロ (長尺対応)	45 万円
TX3RSC	モノクロ・カラー (長尺対応)	60 万円

## 1. 基本操作

- ・テキストデータをラスターデータに変換するには、次のような形式でコマンドラインに入力します。

```
実行モジュール名 入力ファイル名 -0 出力ファイル名 -各オプション
```

- ・変換実行例：

```
> TX2RS sample.txt -0sample.tif -Zrasl_out.atr -p24
```

TX2RS : 実行モジュール名  
sample.txt : 入力するラスターファイル名  
sample.tif : 出力するラスターファイル名  
-0 : 変換結果を出力するファイル名を指定するオプション。  
マイナス記号とアルファベットの「オー」です。  
-0 と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。  
変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じものを指定する事は出来ません。  
-Z : 出力属性パラメータファイル名を指定するオプション。

※オプション指定は大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。  
※オプションの詳細についてはオプションの項目を参照ください。

- ・コマンドプロンプトでの実行例：

```
C:\%tx2rs>tx2rs sample_atr.txt -osample_atr.tif  
Copyright(c) 1992-2012 by Kernel Computer System Co.,Ltd. All rights reserved.  
TEXT(sample_atr.txt) -> RASTER(sample_atr.tif) ファイル コンバータ  
  
ただいま、ファイル変換中です。  
  
ベクター／ラスター変換処理 100% 終了  
  
TX2RS 変換終了
```

## 2. オプションについて

オプションはコマンドライン上で変換時に指定します。  
大文字小文字どちらでも指定できますが全角文字は使用できません。  
-(ハイフン)とオプションの間に空白を入れないでください。

- O[FILENAME] : ラスター出力ファイル名の指定 (初期値 : 標準出力)
- S[SCALE] : 全体のスケール値指定 (初期値 : 1.0)
- X[X-OFFSET] : X方向のオフセット値設定 [単位:0.01m] (初期値 : 0)
- Y[Y-OFFSET] : Y方向のオフセット値設定 [単位:0.01m] (初期値 : 0)
- P[SIZE] : 用紙サイズ (初期値 : A4 縦)
- U[IN\_ATR\_NAME] : 入力属性データ変換パラメータファイル名称 (初期値 : text\_in. atr)
- Z[OUT\_ATR\_NAME] : 出力属性データ変換パラメータファイル名称 (初期値 : rasl\_out. atr)
- I[id\_file] : 出カラスターヘッダファイ名 (初期値 : kdfile. idx)
- M : ラスター出力が TIFF、FX\_RASTER の場合に前のラスターに重ねて出力する。
- BATCH[batch\_file] : 指定されたファイルまたはディレクトリ内のファイルを一括処理時に使用。
- LOG[log\_file] : ログファイル名 (初期値 : 標準出力)
- COLOR[fg/bg] : モノクロイメージをカラーイメージに変換します。(TX2RSC, TX3RSC のみ)  
入力イメージが 2 値の場合: 黒の部分が fg (RGB) で指定した色に、白の部分が bg (RGB) で指定した色に、それぞれ変換されます。  
fg だけを指定し、/bg の部分を省略すると、白の部分は白のままになります。
- LINE[n] : 指定した行番号のみ、変換して出力します。  
n : 行番号  
注 : 該オプションは入力属性ファイルに「IN\_VERSION = TEXT\_FILE」と  
「WIN\_MOJI\_WIN = Y」を指定したときのみ有効です。
- Q : ヘルプメッセージ
- QV : 実行ファイル名とバージョン情報を表示します。  
【表示の内容】  
name : TX2RS (TX2RS : 実行ファイル名)  
version : 1. x (1. x : バージョン番号)

### 3. 属性変換パラメータファイルについて

属性データ変換パラメータファイル(以下、属性ファイル)とは、変換を行う際に入出力フォーマットに対しての変換仕様を設定するファイルとなります。  
設定の変更を行う際には、テキストエディタを使用して編集を行います。

TEXT 入力用..... text\_in. atr  
RASTER 出力用..... rasl\_out. atr

#### 1. テキスト入力属性データ変換パラメータについて(text\_in. atr)

##### (1) テキストデータの入力フォーマットを変更したいとき

IN\_VERSION = TEXT\_FILE..... (入力フォーマットをテキストファイル)  
IN\_VERSION = TEXT\_ATR..... (入力フォーマットをテキストデータファイル)

- ・テキストファイルとはテキストファイルの全体を変換対象となる。  
文字サイズ、フォント等は入力属性の定義に依存します。
- ・テキストデータファイルとは変換したいテキストと変換したいテキストのプロパティ(文字サイズ、フォント、座標等)を含めます。

##### (2) テキストデータの漢字コード種類を指定したいとき

KANJI\_CODE = 漢字コード名称

- ・指定可能な漢字コード名称は UNICODE, SJIS, EUC があります。

例 :

KANJI\_CODE = UNICODE      入力テキストデータの文字コードはUNI コードを指定します。

##### (3) 入力データの文字高さ、幅を指定したいとき

MOJI\_HEIGHT = 文字高さ  
MOJI\_WIDTH = 文字幅

- ・文字高さとの幅の単位はミリ、初期値は4.0 ミリです。
- ・文字高さとの幅指定の有効値は1.0~32.0 ミリです。
- ・半角文字の場合には、幅は設定値の1/2 となります。

##### (4) テキストデータのタブコードをスペースに置き換える文字数を変更したいとき

TAB\_SPACE = 文字数

例 :

TAB\_SPACE = 8 (タブコードを8文字のスペースに置き換え)

##### (5) 文字列の方向を指定したいとき

MOJI\_THETA = 文字列の方向

- ・文字列の方向は角度で定義します。  
有効値は0、90、180、270 度です。初期値は0 度です。
- ・IN\_VERSION = TEXT\_ATR のときのみ有効です。

(6) テキストデータの色情報を指定したいとき (TX2RSC, TX3RSC のみ)

MOJI\_COLOR = 色番号

- ・色情報は色番号で定義します。有効値は1~255です。初期値は1です。
- ・IN\_VERSION = TEXT\_ATR のときのみ有効です。

(7) テキストの行間隔を指定したいとき

LINE\_FEED = 行間隔…………… (有効値は0.0~20.0 ミリ)

- ・IN\_VERSION = TEXT\_FILE を指定した場合のみ、有効です。

(8) 一ページの行数を指定したいとき

PAPER\_LINE = 行数

- ・行数指定の有効値は0~100です。0を指定したとき、用紙サイズから自動計算します。
- ・IN\_VERSION = TEXT\_FILE を指定した場合のみ、有効です。

(9) 一行の列数を指定したいとき

PAPER\_COLUM =列数

- ・列数指定の有効値は0~255です。0を指定したとき、用紙サイズから自動計算します。
- ・IN\_VERSION = TEXT\_FILE を指定した場合のみ、有効です。

(10) Windows 文字フォントを指定したいとき

WIN\_MOJI\_WIN = Y または N

Y : Windows フォントを使用して、ラスター変換を行います。

N : 弊社ベクターフォントを使用しラスター変換を行います。(初期値)

- ・有効値はY あるいは N です。初期値はNです。
- ・Windows 版のみ有効です。
- ・Windows 版はWIN\_MOJI\_WIN = Y を推奨します。

(11) Windows 文字フォントを指定

MOJI\_FONT\_NAME = フォント名称

- ・WIN\_MOJI\_WIN = Y を指定した場合のみ、有効です。
- ・英数字専用のフォント名を指定すると日本語は正常に変換されません。
- ・フォント名称はWindows システムのフォント名称と一致しなければなりません。  
(フォント名称には全半角、大小文字、スペースを区別しています)
- ・Windows 版のみ有効です。
- ・初期値「MS ゴシック」です。

例 :

MOJI\_FONT\_NAME =MS 明朝 フォント名称を「MS 明朝」に設定します。

## 2. 出力属性データ変換パラメータについて(rasl\_out.atr)

### (1) ラスターデータの出力フォーマットを変更したいとき

OUT\_VERSION = SUN\_RASTER…………… (出力フォーマットを Sun/raster)  
OUT\_VERSION = TIFF\_PACK…………… (出力フォーマットを TIFF (PackBits))

-MONO パラメータ (強制的にモノクロとする) 設定したいとき (rasl\_out.atr)  
OUT\_VERSION = TIFF\_G4…………… (出力フォーマットを TIFF (G4))  
OUT\_VERSION = CALSG4…………… (出力フォーマットを Gals (G4))

注:

入力データはマルチページで、指定した出力フォーマットはシングルページしか出来ない場合、入力データの最後の 1 ページしか出力されません。

### (2) ラスターデータの出力解像度を変更したいとき

OUT\_RESOLUTION = 400 (400DPI)

### (3) ラスターデータの色番号の線幅を変更したいとき

SYMBOL\_LINEWIDTH = 0.0…………… (テキストの線幅を 0.0mm)  
COLORWIDTH=(C1=0.1, C2=0.2, C3=0.5)…………… (COLOR1:0.1mm, COLOR2:0.2mm, COLOR3:0.5mm)  
※MOJI\_COLOR で指定した番号に対して線幅を指定します。  
※SYMBOL\_LINEWIDTH に 0.0 以外を指定した場合は、SYMBOL\_LINEWIDTH の値が有効になります。

### (4) TIFF データ出力時、INTEL 形式/MOTOROLA 形式の切り換えをしたいとき

TIFF\_BYTEORDER = M…………… (MOTOROLA 形式ファイル)  
TIFF\_BYTEORDER = I…………… (INTEL 形式ファイル)

(注) 本パラメータをコメント (先頭に #) にすると、実行環境に合わせて INTEL/MOTOROLA が自動決定されます。

### (5) 出力ラスターデータを A 系列の用紙サイズに設定したい場合 (UNIX 版のみ有効)

A\_PAPER\_OUT = Y…………… A 系列の用紙サイズで出力します。

・変換オプション「-G」, 「-AG」を指定したときのみ有効です。

### (6) 出力されるドット数の縦/横ドット数を 8 ビット単位、16 ビット単位、32 ビット単位で行うかどうかを設定したい場合。(UNIX 版のみ有効)

BYTE\_BOUNDARY\_X = 1…………… 横 (X) ドット数を 8 ビット単位で出力します。  
BYTE\_BOUNDARY\_Y = 2…………… 縦 (Y) ドット数を 16 ビット単位で出力します。

## 4. テキストデータファイルについて

ラスターデータに変換するテキストデータファイルは以下のパラメータを指定して作成します。

### 1. 文字の表示位置の設定

文字の表示位置を設定します。

(1) 入力フォーマット

ORG\_X = xxx.xx ..... 表示位置 X (単位: mm)

ORG\_Y = xxx.xx ..... 表示位置 Y (単位: mm)

(2) 初期値

なし

(3) 制限条件

左下を原点(0,0)とします。

(4) 入力例

ORG\_X = 10.0 ..... 文字表示位置 X を 10.0mm に設定します。

ORG\_Y = 15.0 ..... 文字表示位置 Y を 15.0mm に設定します。

### 2. 表示文字列の設定

表示文字列を設定します。

(1) 入力フォーマット

TEXT = XXXXXXXXXX ..... 表示文字列

(2) 初期値

なし

(3) 制限条件

表示文字列は、半角文字で 256 文字、全角文字なら 128 文字以内とします。

空白文字、TAB の指定は出来ません。

(4) 入力例

TEXT = あいうえお ..... 表示文字列に『あいうえお』をセット。



### テキストデータファイルサンプル

```
#####text data sample#####  
MOJI_HEIGHT = 6.0  
MOJI_WIDTH = 6.0  
MOJI_THETA = 0.0  
ORG_X = 0.0  
ORG_Y = 6.0  
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)  
ORG_X = 100.0  
ORG_Y =106.0  
MOJI_COLOR = 2  
MOJI_WIDTH = 4.0  
MOJI_HEIGHT = 4.0  
MOJI_THETA = 90  
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)  
↑1 カラム目  
(注)1 カラム目が#のときは、コメントラインとなります。
```

### テキストデータ変換例

1つのテキストをラスタへ変換

```
#####text data sample#####  
MOJI_HEIGHT = 6.0  
MOJI_WIDTH = 6.0  
MOJI_THETA = 0.0  
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)
```



カーネルコンピュータシステム(株)

複数のテキストをラスタへ変換

```
#####text data sample#####  
MOJI_HEIGHT = 6.0  
MOJI_WIDTH = 6.0  
MOJI_THETA = 0.0  
ORG_X = x1  
ORG_Y = y1  
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)  
MOJI_THETA = 0.0  
ORG_X = x2  
ORG_Y = y2  
TEXT=カーネルコンピュータシステム(株)
```

